

ウダヤナ大学への協定留学 月例報告書 (2023年2月分)

留学先大学：ウダヤナ大学人文学部日本文学学科

氏名：森下千裕

引き続き大学の長期休暇中です。課外活動として、主にバリ舞踊の練習や行事に参加していました。さまざまな経験をすることができましたが、そうした記録をすぐにまとめるために、休日はwifiのあるカフェ巡りをしながら作業していました。カフェに行くことで作業も進みましたが、息抜きにもなりました。

踊りの練習

今月は、個人レッスンはせず、同じ教室に練習に来ている高校生のグループに混ざって練習していました。高校生たちは、今年4月に行われるという舞踊の競技会に向けて約20分にも及ぶ古典舞踊を練習しています。この演目は以前習ったことがありましたが、その時は個人レッスンで習ったため、フォーメーションの勉強ができていませんでした。競技会では、高校生たちは4人で踊るということで、4人用のフォーメーションを先生や教室の先輩と一緒に考えながら練習しています。私もいつか複数人で踊ってみたいな、と思いながら、今回のフォーメーションやその作り方を間近で勉強することができました。

競技会でのデモンストレーション

今月上旬に行われた舞踊の競技会にて、デモンストレーションの一環として審査の講評時に課題曲を踊らせていただく機会がありました。今回の競技会の対象年齢は小学校高学年から中学生までで、課題曲にはバリ舞踊の基本的な動きに加えて表現力が必要な演目が用いられていました。私の先生曰く、近年はこの演目は正しく解釈されていないことが多く、それゆえに踊りの表現や踊り方が変わってきてしまっている、とのことでした。そしてその結果、衣装についても演目の性格を深く解釈されないまま選ばれてしまうことが多いそうです。そこで、先生の解釈をもとに考えられた衣装を身に着け、審査の講評時に踊らせていただくことになりました。私もまだ十分な技術や表現ができていたとはいえません。しかしこうした機会をきっかけに、どの演目についても踊るだけでなく背景を理解してよく考える、ということをおぼることができました。

おわりに

今月は踊りに関する行事に集中することができた一か月でした。来月からは後期授業が始まる予定です。生活スタイルを切り替えて授業に取り組みたいと思います。



⇐ お気に入りのドーナツ屋さんで作業をします。
人気のチェーン店で、店舗がたくさんあります。



↓ 舞踊のコンテストの審査講評時に踊る機会をいただきました

